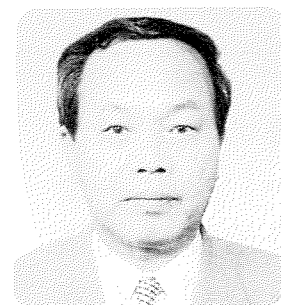


いまいま
元気に活動中



JAM滋賀シニアクラブ会長
福井 雅昭

JAM滋賀シニアクラブは、2003年6月に結成して7年になります。

会員は56名（全国では約7,000名）という小さな組織ではありますが、シニアクラブの理念である「生きがい」「自立」「相互扶助」「社会貢献」の実践・実現するために、年間を通して行事を企画し活動しています。

しかしまだまだ会員全体での活動が出来るように工夫を加えて、定期総会の開催、心豊かな楽しいふれあいの場として交流会の開催、会員の趣味・特技を生かせる文化レク活動など充実した内容になるよう幹事



(グランドゴルフ大会にて)

会を中心に努力をしています。

また、当初の目標であります会員拡大のためのシニアクラブ独自の行動だけでなく各単組へのオルグの実施や退職者会未組織の組織化など、現役組織の力も借りながら会員の拡大に努力していくことも今年の課題であります。



(交流会での様子)

～総会のお知らせ～

連合滋賀・高齢退職者団体協議会 第17回総会

日時：2月19日(土) 10時30開会 (受付10:00)

場所：ライズヴィル都賀山 守山市浮気町300-24

議題：①2010年度活動報告、会計報告

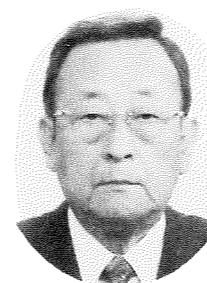
②2011年度活動計画(案)、予算(案)

③その他

りりしんしん 滋賀

第33号 2011.1.20
発行所:連合滋賀・高退協
発行責任者:吉川 浩次
編集責任者:山崎 長榮
大津市松本2丁目10-6
TEL 077-523-0500
FAX 077-523-5600

よりよい高齢社会を生き抜くため 後期高齢者医療保険制度の充実を求めて



年頭の
あいさつ

連合滋賀・高退協会長
吉川浩次

新年明けましておめでとうございます。
連合滋賀・高齢退職者団体協議会の皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

この一年間、連合滋賀・高退協の諸活動に対し、構成組織、会員各位のご理解とご支援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。とりわけ近畿ブロック高退会の秋のハイキングを、6年ぶりに連合滋賀・高退協が担当することになり、10月29日に開催した「彦根城」ハイキングには、近畿各地から1,021名の参加があり盛大に開催することが出来ました。ご参加頂いた方々、物心両面でご支援下さいまして連合滋賀現役の皆様方に心から感謝申し上げます。

政権交代して2年目を迎えています。外交問題、政治とカネに関連する政倫審への対応、連立問題などの諸問題が浮上し、難しい課題が山積みし不安材料ばかりが先行しています。

この通常国会に提案・審議される後期高

齢者医療保険制度に変わる、新しい高齢者医療保険制度の「最終とりまとめ案」が決定しました。この案によれば①現行の後期高齢者医療制度は、平成25年度より廃止される②市長村国保を都道府県単位に拡大すること③国保の運営を都道府県にすること④国保の全年齢を対象とした都道府県への移行年度を明示したこと等、高退協として評価すべき点多々あります。ただ一部新聞報道で法案先送りの記事が記載されていることについて、藤村修厚生労働副大臣は通常国会に提出し、成立を目指す旨明言しています。

連合滋賀・高退協は2月19日定例総会を開催します。新しい年度の事業計画も構成団体や会員各位の要望を十分取り入れ、会員がお互いに助け合い、親睦交流を深め、よりよい高齢者社会を生き抜くことを目標に活動を進めます。

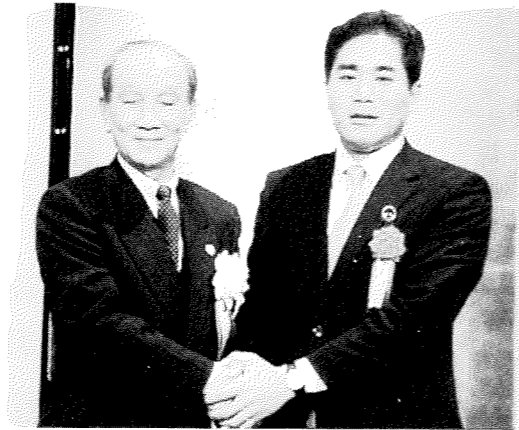


〈連合滋賀2011新春の集い〉が開催 「働くことを軸とする安心社会」をめざし 春季生活闘争・統一地方選挙の必勝誓う

連合滋賀は1月7日、琵琶湖ホテルにおいて「2011連合滋賀新春の集い」を、嘉田由紀子滋賀県知事や各市町長、経済団体、事業団体、友誼団体の代表者をはじめ県内選出の国会議員や連合滋賀議員団など多くの来賓を招き、構成組織、地区連、組合員合わせて270名の参加で開催され、連合滋賀・高退協より吉川会長、山森副会長、山崎事務局長が参加しました。

冒頭、主催者を代表して中村憲市連合滋賀会長が挨拶し、連合結成20年の節目で確認した『働くことを軸とする安心社会』の実現をめざし、更なる機能強化を図りつつ、ウイングを広げ、幅広い層の参加と開かれた運動を展開し、人々の共感を得る連合滋賀をめざす決意を述べ、また、春季生活闘争と統一地方選挙での勝利に向けて全ての構成組織・組合員の奮闘を訴える挨拶がありました。

その後多くの来賓を代表して、行政から滋賀県知事の嘉田由紀子氏、経済団体から(社)滋賀経済産業協会副会長の田井繁好氏の祝辞に続き、奥村



連合滋賀中村会長とがっちり握手する、守山市長選挙予定候補者「宮本かずひろ」(右)

展三民主党滋賀県連代表をはじめ県内選出の全衆参国会議員、そして最後に連合滋賀議員団会議を代表して大井豊会長からそれぞれ祝辞が述べられました。

また、連合滋賀議員団に所属する県議会・市議会議員と統一地方選挙・守山市長選挙に挑戦する連合滋賀推薦の予定候補者が登壇し、力強く決意表明を行いました。



(連合滋賀議員団所属の県議会議員と予定候補者)

政府の年金支給額減額に対して 〈緊急抗議電報行動を実施〉

退職者連合は、12月15日国会内で「来年度以降の年金額が減額になりそうですが、それは止めてもらいたい」など年金問題を中心に、民主党企業団体対策委員長山根隆治参議院議員に要請を行った。しかし、政府は年金支給額を減額する方向である。

年金課税の問題も前進していないなか、法人税は減税となり、去年の民主党マニフェストと完全に逆行しており、当然容認出来ないことから、昨年末に退職者連合の要請のもと、連合滋賀・高退協としても緊急抗議電報行動を菅直人内閣総理大臣、及び細川律夫厚生労働大臣に対して実施した。

低迷するな民主党！ 庶民の目線や！



連合滋賀・高退協
副会長（滋賀県退職
教職員協議会）

山森 正

突然仕掛けられた尖閣諸島や北朝鮮砲撃事件、政府に少しもたつきがあったものの、これは自民政権だったとしても同じだった。北朝鮮は論外だが、中国も困った国で好き勝手な駄々っ子だ。毒餃子対応や領土問題、ノーベル賞問題なども国際的な常識を強引に無視して開き直る。これら暴走姿勢に、真面目で賢さのない日本は呆然としてアピール力が弱く損をしている。

いま何より民主党が情けない。やっとな保守政治を終焉させ待望の民主党政権が誕生し歓喜したのに、発足時のあの新鮮さ、意欲に満ちた言動はどこへやら、マスコミからも集中砲火を浴びている。いまの民主党は失速して、失望の声ばかりである。何より鳩山の迷走は一体何なのか。沖縄問題は判らんではないが、小沢切りをしてすぐ恩人と変身、勝手に立候補辞退宣言し、また出るとは呆れ果てた。民主党の人気も地に落とし、民意は冷え切り坂道を転げ落ちた。

菅内閣の打率も低くしつかりせよと言いたい。党内抗争は国民と余りにもかけ離れた抗争だ。やはり正論で突破するしかない。このままでは、連合の仲間も勇んで統一選挙に取り込む気が失せてしまうというもの。庶民の声、目線で政治論議を行え！政治を動かす主人公は一体誰なのか！